

平成25年度

適性検査Ⅰ

注 意

- 1 問題は [1] から [6] までで、17ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は45分で、終わりは午前10時10分です。
- 3 声を出して読むはいけません。
- 4 解答はすべて解答用紙にはっきりと記入し、**解答用紙だけ提出**しなさい。
- 5 解答を直すときは、きれいに消してから、新しい解答を書きなさい。
- 6 性別・受検番号は解答用紙の決められた欄^{らん}2か所に必ず記入しなさい。

さいたま市立浦和中学校

1

太郎くんは友だちといっしょに、さいたま市の青少年宇宙科学館へ行きました。さまざまな展示を見学し帰るときに、入口のところに一本の木が気に入り、係の人に聞きました。この木は「ニュートンのリンゴの木」の子孫だと知りました。「ニュートンのリンゴの木」の話は聞いたことがありましたが、ニュートンが発見した万有引力とはどのようなものかわからなかったので、家でお父さんにたずねました。すると、お父さんは一冊の本を紹介してくれました。それは吉野源三郎の『君たちはどう生きるか』という本でした。

次の文章は、吉野源三郎著『君たちはどう生きるか』（岩波文庫）の一部です。これを読んで問1～問4に答えなさい。

<これまでのあらすじ>

主人公である中学校2年生の本田潤一君は、友人たちから親しみをこめて「コペル君」という愛称で呼ばれています。お母さんの弟である叔父さんは大学を出たばかりで、いろいろとコペル君の相談相手になってくれます。ある日、コペル君の家に友人の北見君と水谷君が遊びに来た時、おやつにリンゴを食べていると、叔父さんがニュートンの話を始めました。叔父さんとコペル君が北見君たちを家まで送ってゆく時に、コペル君たち3人は、叔父さんからニュートンの万有引力発見の話を詳しく聞きました。

吉野源三郎著「君たちはどう生きるか」岩波文庫
75頁11行目から82頁9行目の文章による。

(一部省略やふりがなをつけるなどの変更があります)

問1 太郎くんは、コペル君たちが下線部①「いまの自分の気持ちをなんと言って口に出したらいいか、わからなかったのです。」という心境になったのは、なぜなのかと考えました。あなたの考えを40字以上50字以内で答えなさい。

問2 下線部②「四人の方を見えています。」とありますが、(1)何が四人の方を見ているのでしょうか。文章中から探して答えなさい。

また、(2)これと同じ表現方法を用いている部分を文章中から探し、30字以内で書き抜きなさい。

問3 太郎くんは、この文章から、ニュートンの偉大さについて、次のように2つの内容にまとめました。空らん(1)と(2)にあてはまる内容を、文章中からそれぞれ20字以上25字以内で探し、その始めの5字と終わりの5字を書きなさい。

ニュートンの偉大さ	(1)
	(2)

問4 太郎くんは、この話を読んで、叔父さんはコペル君たちにどんなことを伝えようとしたのか考えてみました。そして、太郎くんは、叔父さんがニュートンの話からコペル君たちに、これからの生き方についてヒントを与えているのだということに気がつきました。それはどのような生き方でしょうか。もっとも適切なものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア いつか自分も大発見が出来るように、いろいろ注意深く観察しつづけてゆこうとする生き方。
- イ 非常な苦心と努力により、普通の人にはとても出来ないような難しい問題に取り組む生き方。
- ウ あたりまえのことをあたりまえにせず、どこまでも追いかけて考えを深めようとする生き方。
- エ 最初の思いつきを思いつきのままにせず、実際にそれを証明するための研究をする生き方。

2

花子さんの学級では、音楽の授業で、「音楽とは何か」というテーマでグループ研究をし、発表することになりました。花子さんたちのグループは、茂木健一郎もぎけんいちろうさんが書いた『すべては音楽から生まれる』という本を読んで、研究することにしました。

次の文章は、茂木健一郎著『すべては音楽から生まれる』（PHP新書）の一部です。これを読んで、問1～問5に答えなさい。なお、（Ⅰ）と（Ⅱ）は大段落に付けた番号です。

（Ⅰ）

茂木健一郎著「すべては音楽から生まれる」PHP新書
127頁2行目から133頁3行目の文章による。

（Ⅱ）

(一部省略やふりがなをつけるなどの変更があります)

- ※1 畢竟……つまり。結局。
- ※2 既存……すでに存在すること。
- ※3 含意……表面には現れない意味。
- ※4 欠損……一部が欠けてなくなること。
- ※5 欠如……欠けていること。
- ※6 厨子……仏像などを納める、両開きのとびらがある箱。

- ※7 綿々……長く続いて絶えないさま。
- ※8 真摯……まじめでひたむきなこと。
- ※9 対峙……向かいあって立つこと。

問1 花子さんたちのグループでは、(I)の大段落から、下線部①「シューベルトの交響曲第八番」が「未完成」と人々に呼ばれる理由を説明するために、次のように特徴をまとめました。空らん A と B にあてはまる内容を文章中から探し、それぞれ10字以上15字以内で書き抜きなさい。

普通 の 交 響 曲	A
シューベルトの交響曲第八番	B

問2 花子さんたちのグループでは、(I)の大段落にある下線部②「目に見えないどころか耳にさえ聞こえないものを『聴く』ことの快感」という表現に注目し、ここで筆者が何を言いたいかを説明するために、文章中の語句を使って、次のようにまとめました。そのまとめとしてもっとも適切なものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 百八十年たっても、シューベルトが示した当時の最新の音楽を聴くことができる喜び。
- イ 欠損した部分から、そこには「なにか」に思いを馳せ、無限に追い求める面白さ。
- ウ 当時の原則を無視した、既存の形式に囚われなかったシューベルトの個性が放つ旋律。
- エ 自分という楽器が生み出した、音符や楽譜という記号を用いた音楽が授けてくれる恩恵。

問3 花子さんたちのグループでは、(II)の大段落にある下線部④「真摯に音楽と対峙する彼にその時降りてきた音楽は、一筋の光のような希望であり、()に他ならなかったのだ。」という部分から、シューベルトにとっての音楽は、次のようなものだと考えました。下線部④の()には文章中の漢字1字が入りますが、この漢字を使って、空らん に入るもっとも適切な語句を答えなさい。

シューベルトにとっての音楽とは、 ことだ。

問4 花子さんたちのグループでは、「音楽とは何か」というテーマについて、筆者がどう考えているのかを話し合い、次のようにまとめました。空らん にあてはまる内容を、文章中から30字以上40字以内で探し、その始めの5字と終わりの5字を書きなさい。

筆者は音楽を秘仏によく似たものと考えていて、その本質は、 であると考えている。

問5 花子さんは、(Ⅱ)の大段落にある下線部③「秘仏」に興味を持ち、茂木さんの他の著作で「秘仏」に関する文章を読みました。その文章を段落ごとに8枚のカードに書き写しましたが、そのうち、6枚のカードが、バラバラになってしまいました。次の ～ に入るもっともふさわしいカードを選び、ア～カの記号で答えなさい。

茂木健一郎著「化粧する脳」集英社新書
103頁8行目から105頁10行目の文書による。

バラバラになったカード

ア

イ

ウ

エ

オ

カ

茂木健一郎著『化粧する脳』(集英社新書)より(一部省略やふりがなをつけるなどの変更があります)